

(様式3)

事業所名 愛の家グループホーム新潟坂井

作成日: 平成 23年 4 月 28 日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけ、地域との協力体制を明確に築いていく必要がある。	災害時の避難方法を全職員が把握しており、地域の方々と共に避難訓練を行う事が出来る。	年に2回行う避難訓練の際に近所の方々に日時をチラシと口頭でお知らせし、参加協力を促す。避難方法に関しては全職員が訓練前に役割分担や、その内容を職員同士で確認し合い、もれが無いかチェックし合う。また、入居者のADLに合わせた避難方法を定期的な会議で話し合い、把握に努め、様々な場面を想定し、役割分担などのシミュレーションを行っておく。	1ヶ月
2	49	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努め、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し外出支援はしているが、家族や地域の人々と協力しながらの外出は行えていない。	外出や行事時、ご家族様方や地域の方々にも参加して頂けるようになる。	外出支援や行事を行う際は計画立案の時点で家人も参加可能な内容も検討し、積極的に家人へもお知らせし、共に出かけたり参加して頂ける様に働き掛ける。	8ヶ月
3	2	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流する機会を設ける頻度が少ない。	地域との付き合い頻度を上げ、様々な機会を通じて幅広く付き合えるようになる。	ホーム開催の行事で地域の方々に参加して頂ける内容のものに関しては、チラシや口頭にて積極的に参加の呼び掛けを行い、幼稚園や小学校等に往訪問のお願いして交流出来る機会を設けていく。また、こちらも自治会や地域の行事等にも参加させて頂けるように努力し、地域との付き合い頻度を上げていく。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月